

# 財務報告書 2018

平成 29 事業年度

平成29年4月1日～平成30年3月31日



---

北海道公立大学法人札幌医科大学

---

# 目次

1. 財務概要	…P1
2. 平成29事業年度財務諸表の要約	…P3
3. 過去6年間の推移	…P9
4. 財務指標（年度間比較）	…P18
5. 資料編	
(1) 貸借対照表	…P21
(2) 損益計算書	…P24

## ○財務概要

### 資産・負債・純資産の状況

「貸借対照表」は平成29年度末における財務状態を表したものです。

「資産」は前年度比11億円増加の492億円、「負債」は前年度比17億円増加の135億円、また「純資産」は前年度比6億円減少の357億円となっています。

### 貸借対照表

【平成30年3月31日】

(単位：億円)

区分	28年度	29年度	増減
<b>資産の部</b>	481	492	11
【固定資産】	388	392	4
土地	115	115	0
① 建物等	218	211	▲ 7
② 備品	38	41	3
図書	8	8	0
その他固定資産	9	16	7
【流動資産】	93	100	7
③ 現金・預金	40	43	3
有価証券	0	0	0
④ その他流動資産	53	57	4
<b>資産合計</b>	481	492	11

区分	28年度	29年度	増減
<b>負債の部</b>	118	135	17
⑤ 資産見返負債	24	28	4
借入金	13	17	4
⑥ 未払金	40	49	9
⑦ 寄附金債務	11	11	0
その他負債	30	30	0
<b>純資産の部</b>	363	357	▲ 6
資本金	356	356	0
資本剰余金	▲ 33	▲ 40	▲ 7
⑧ 利益剰余金	40	41	1
<b>負債・純資産合計</b>	481	492	11

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

### 主な増減内容は次のとおりです。

#### 資産の部

##### ①建物等：211億円（7億円減少）

- ・建物等211億円は、建物等の取得価格319億円から減価償却累計額108億円を控除した額です。

##### ②備品：41億円（3億円増加）

- ・備品41億円は、備品の取得価格198億円から減価償却累計額157億円を控除した額です。

##### ③現金・預金：43億円（3億円増加）

- ・現金・預金は43億円で、昨年度より3億円の増となっています。

##### ④その他流動資産：57億円（4億円増）

- ・主なものは、健康保険等の保険者から後日入金される未収附属病院収入が52億円で、4億円の増となっています。

#### 負債の部

##### ⑤資産見返負債：28億円（4億円増加）

- ・資産見返負債は28億円で、資産を購入したことによる減価償却費です。

##### ⑥未払金：49億円（9億円増加）

- ・未払金の内訳は、1年以内支払分リース債務3億円及び4月以降に支払う物件費等です。

##### ⑦寄附金債務：11億円（昨年度同額）

- ・当期は受入、執行額ともに増加しましたが、債務累計額は昨年度同となっています。

#### 純資産の部

##### ⑧利益剰余金：41億円（1億円増）

- ・前中期目標期間繰越積立金36億円、目的積立金5億円の計41億円となっています。

## 費用・収益の状況

「損益計算書」は平成29年度の運営状況（経営成績）を表したものです。

「経常費用」は前年度比11億円増加の335億円、「経常収益」は前年度比11億円増加の337億円です。この差額に臨時損益及び目的（繰越）積立金取崩を加えた当期総利益は、前年度と比べ1億円増加しています。

### 損益計算書 【平成29年4月1日～平成30年3月31日】

(単位：億円)

区分	28年度	29年度	増減
①教育・研究等経費	22	22	0
②診療経費	142	146	4
③受託研究・事業費	3	6	3
④人件費	152	156	4
一般管理費	5	5	0
財務費用	0	0	0

経常費用	324	335	11
------	-----	-----	----

臨時損失	1	0	▲ 1
------	---	---	-----

当期総利益	0	1	1
-------	---	---	---

計	326	337	11
---	-----	-----	----

区分	28年度	29年度	増減
⑤運営費交付金収益	59	62	3
⑥附属病院収益	239	244	5
学生納付金収益	8	8	0
外部資金収益	9	13	4
⑦補助金収益	4	2	▲ 2
その他収益	6	8	2

経常収益	326	337	11
------	-----	-----	----

臨時利益	0	0	0
------	---	---	---

目的（繰越）積立金取崩	0	0	0
-------------	---	---	---

計	326	337	11
---	-----	-----	----

注) 各金額は単位未満四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

### 主な増減内容は次のとおりです。

#### 経常費用

##### ①教育・研究等経費：22億円（昨年度同額）

- ・新棟移転に伴う備品購入等の経費の増
- ・補助事業の減少に伴う経費の減

##### ②診療経費：146億円（4億円増加）

- ・医薬材料費の増
- ・減価償却費の減
- ・光熱費の増

##### ③受託研究・事業費：6億円（3億円増加）

- ・受託研究の増
- ・受託事業の増

##### ④人件費：156億円（4億円増加）

- ・給与改定及び人数増等に伴う所要額の増
- ・退職手当の増

#### 経常収益

##### ⑤運営費交付金収益：62億円（3億円増加）

- ・運営費交付金の受入額の増
- ・資産購入増による収益額減

##### ⑥附属病院収益：244億円（5億円増加）

- ・手術件数の増加に伴う診療収入の増
- ・診療単価等の上昇に伴う診療収入の増

##### ⑦補助金収益：2億円（2億円減少）

- ・補助事業の終了による受入額の減

# ○平成29事業年度財務諸表の要約

## 貸借対照表～法人の財政状態を明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

資産の部	
I 固定資産	39,217
1 有形固定資産	37,993
土地	11,535
建物	20,420
構築物	651
工具器具備品	4,138
図書	850
その他	399
2 無形固定資産	88
特許権	37
ソフトウェア	9
その他	42
3 投資その他の資産	1,136
投資有価証券	0
未収財源措置予定額	1,094
その他	43
II 流動資産	10,032
現金及び預金	4,288
未収学生納付金収入	0
未収附属病院収入	5,192
有価証券	0
医薬品及び診療材料	381
たな卸資産	8
未収入金	140
その他	24
<b>資産合計</b>	<b>49,250</b>

負債の部	
I 固定負債	5,969
資産見返負債	2,821 ※1)
長期寄附金債務	418
長期借入金	1,659
引当金	11
長期未払金	946
資産除去債務	114
II 流動負債	7,570
運営費交付金債務	396
寄附金債務	1,066 ※2)
前受受託研究費等	330
1年以内返済長期借入金	520
未払金	4,945 ※3)
その他	313
<b>負債合計</b>	<b>13,539</b>

純資産の部	
I 資本金	35,635 ※4)
II 資本剰余金	▲ 4,029 ※5)
III 利益剰余金	4,105
前中期目標期間繰越積立金	3,595 ※6)
目的積立金	388 ※7)
積立金	0 ※8)
当期末処分利益	122
<b>純資産合計</b>	<b>35,711</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>49,250</b>

### 運用状況

【流動資産】  
資産のうち、1年以内に現金化されるもの

【固定資産】  
業務目的を達成するために所有し、加工又は売却を予定しない財貨

### 調達源泉

【純資産】  
業務実施のため与えられた財産的基礎、及び業務に関連した剰余金

【流動負債】  
負債のうち、1年以内に返済または支払うもの

【固定負債】  
負債のうち、1年を超える長期にわたって返済又は支払うもの

- ※1) 資産見返負債～運営費交付金、授業料、寄附金等を財源として資産を取得した場合、取得時に資産同額の負債を計上します。当該資産の減価償却相当額を資産見返負債戻入として収益化し、収支均衡を行うための地方独立行政法人独自の勘定科目です。
- ※2) 寄附金債務～翌期以降に使用される予定で繰越される寄附金の残高です。
- ※3) 未払金～1年以内に支払予定の人件費・リース債務に係る未払金及びその他の未払金です。
- ※4) 資本金～道出資金（法人移行時に道から現物出資を受けた土地、建物等）の総額です。
- ※5) 資本剰余金～目的積立金や施設費で固定資産を取得した時、または非償却資産の取得時に、相当額を計上します。当該資産で生じる減価償却相当額は費用化せずに、資本剰余金から直接控除（損益外減価償却）します。
- ※6) 前中期目標期間繰越積立金～前中期目標期間から繰り越しが認められた剰余金です。
- ※7) 目的積立金～自己収入の獲得増や効率的運営により生じた剰余金です。
- ※8) 積立金～経営努力によらない剰余金であり、翌期以降の損失の補填に充当します。

## 損益計算書～法人の運営状況を明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

		(単位：百万円)		
費用	<b>経常費用</b>		33,531	
	業務費		33,017	→ <b>【業務費】</b> ・ 目的別に「教育」「研究」「診療」「人件費」等に分類 ・ 「教育経費」「研究経費」等の業務費は、施設設備に係る減価償却費・保守経費を含む ・ 「受託研究費」「受託事業費」は、受託研究等に係る人件費を含む
	教育経費		619	
	研究経費		1,207	
	診療経費		14,553	
	教育研究支援経費		421 ※1)	
	受託研究費		371	
	受託事業費		200	
	人件費		15,646	
	一般管理費		508	
財務費用		5 ※2)		
収益	<b>経常収益</b>		33,656	→ <b>【経常収益】</b> ・ 「運営費交付金収益」及び「授業料等収益」は、資産を取得した分を除いた収益額 ・ 「運営費交付金」「寄附金」等で翌期以降に使用予定の額は債務（流動負債）として翌期へ繰越
	運営費交付金収益		6,202	
	授業料等収益		808	
	附属病院収益		24,440	
	受託研究等収益		438	
	受託事業等収益		246	
	寄附金収益		596	
	施設費収益		193	
	補助金収益		156	
	資産見返負債戻入		290 ※3)	
	財務収益		1	
	雑益		286	
<b>経常利益</b>		126		
臨時損失		9	→ <b>【臨時損失】</b> ・ 臨時損失は、固定資産の除却を計上	
臨時利益		6		
<b>当期純利益</b>		122		
前中期目標期間繰越積立金取崩額		0		
目的積立金取崩額		0 ※4)		
<b>当期総利益</b>		122		

※1) 教育研究支援経費～附属総合情報センター等の大学全体の教育研究を支援する施設の運営経費です。

※2) 財務費用～附属病院にかかる借入金の支払利息  
(償還利率 ㉔0.35%、㉕0.45%、㉖0.35%、㉗0.35%、㉘0.125%、㉙0.125%)

※3) 資産見返負債戻入～運営費交付金、授業料、寄附金等の財源で取得した固定資産の減価償却に伴って収益計上し、損益を均衡させます。

※4) 目的積立金取崩額～目的積立金を財源とした費用相当額を計上します。平成29年度においては、目的積立金の取り崩しは行っておりません。

## キャッシュ・フロー計算書～現金の出し入れを明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

I 業務活動によるキャッシュフロー	1,454
原材料、商品又はサービスの購入による支出	▲ 15,383
人件費	▲ 15,467
その他の業務支出	▲ 550
運営費交付金収入	6,202
授業料収入	717
入学金収入	77
検定料収入	15
附属病院収入	24,060
受託研究等収入	490
受託事業等収入	122
補助金等収入	171
補助金等の精算による返還金の支出	▲ 8
寄附金収入	693
預り科学研究費補助金等増減	23
その他収入	293
設立団体納付金の支払額	0

### 【業務活動】

教育・研究・診療など通常業務に伴う資金の出入りを表すもの

業務活動による資金調達 15億円

II 投資活動によるキャッシュフロー	▲ 935
有価証券の取得による支出	▲ 367
有価証券の償還による収入	367
有形固定資産の取得による支出	▲ 1,506
無形固定資産の取得による支出	▲ 16
有形固定資産及び無形固定資産の売却による収入	6
定期の預入による支出	▲ 1,500
定期の払出による収入	1,500
施設費による収入	581
利息及び配当金の受領額	1

### 【投資活動】

固定資産取得や売却、余裕金の運用など投資活動に伴う資金の出入りを表すもの

投資活動への資金利用 ▲9億円

III 財務活動によるキャッシュフロー	▲ 277
長期借入れによる収入	879
長期借入金返済による支出	▲ 520
ファイナンスリース債務の返済による支出	▲ 631
利息の支払額	▲ 5

### 【財務活動】

借入金による資金の調達や返済など財務活動に伴う資金の出入りを表すもの

財務活動への資金利用 ▲3億円

IV 資金に係る換算差額	0
--------------	---

V 資金増加額 (I+II+III+IV)	242
-----------------------	-----

平成29年度キャッシュ増加額  
2億円

VI 資金期首残高	4,046
-----------	-------

VII 資金期末残高 (V+VI)	4,288
-------------------	-------

注) キャッシュ・フロー計算書とは、資金の調達や運用状況を明らかにするため、一会計期間の資金の流れを「業務活動」・「投資活動」・「財務活動」の3つの区分に分けて表示し、報告するものです。

# 行政サービス実施コスト計算書～住民等が負担するコストを明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

<b>I 業務費用</b>	6,755
(1) 損益計算書上の費用	33,540
業務費	33,017
一般管理費	508
財務費用	5
臨時損失	9
(2) (控除) 自己収入等	▲ 26,785
授業料収益・入学料収益・検定料収益	▲ 808
附属病院収益	▲ 24,440
受託研究等収益	▲ 438
受託事業等収益	▲ 246
寄附金収益	▲ 596
資産見返運営費交付金等戻入	0
資産見返寄附金戻入	▲ 72
財務収益	▲ 1
雑益	▲ 178
臨時利益	▲ 6
<b>II 損益外減価償却相当額</b>	1,234
<b>III 損益外減損損失相当額</b>	0
<b>IV 損益外利息費用相当額</b>	3
<b>V 損益外除売却差額相当額</b>	5
<b>VI 引当外賞与増加見積額</b>	25
<b>VII 引当外退職給付増加見積額</b>	765
<b>VI 機会費用</b>	533
・国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	519 ※1)
・地方公共団体出資の機会費用	14 ※2)
<b>VII (控除) 設立団体納付金</b>	0
<b>VIII 行政サービス実施コスト</b>	9,320

道からの財源で賄われているコスト

・損益計算書における費用から授業料収益や病院収益等の自己収入を差し引いたもの

(1) 損益計算書の費用：335億円

(2) (控除) 自己収入等：268億円

業務費用：68億円

損益計算書に計上されていないコスト：20億円

・道から出資された資産等の減価償却や、一部の退職手当等、制度上費用に反映されない負担相当額

免除もしくは軽減されているコスト：5億円

・道、市町村等の資産利用に関して北海道公立大学法人ゆえに優遇された相当額

行政サービス実施コスト：93億円

※1) 道、市町村等の財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算方法：近隣の地代や賃借料を参考に計算しています。

※2) 地方公共団体出資の機会費用の計算に使用した利率：平成30年3月31日における10年国債の利回り0.045%を参考に計算しています。

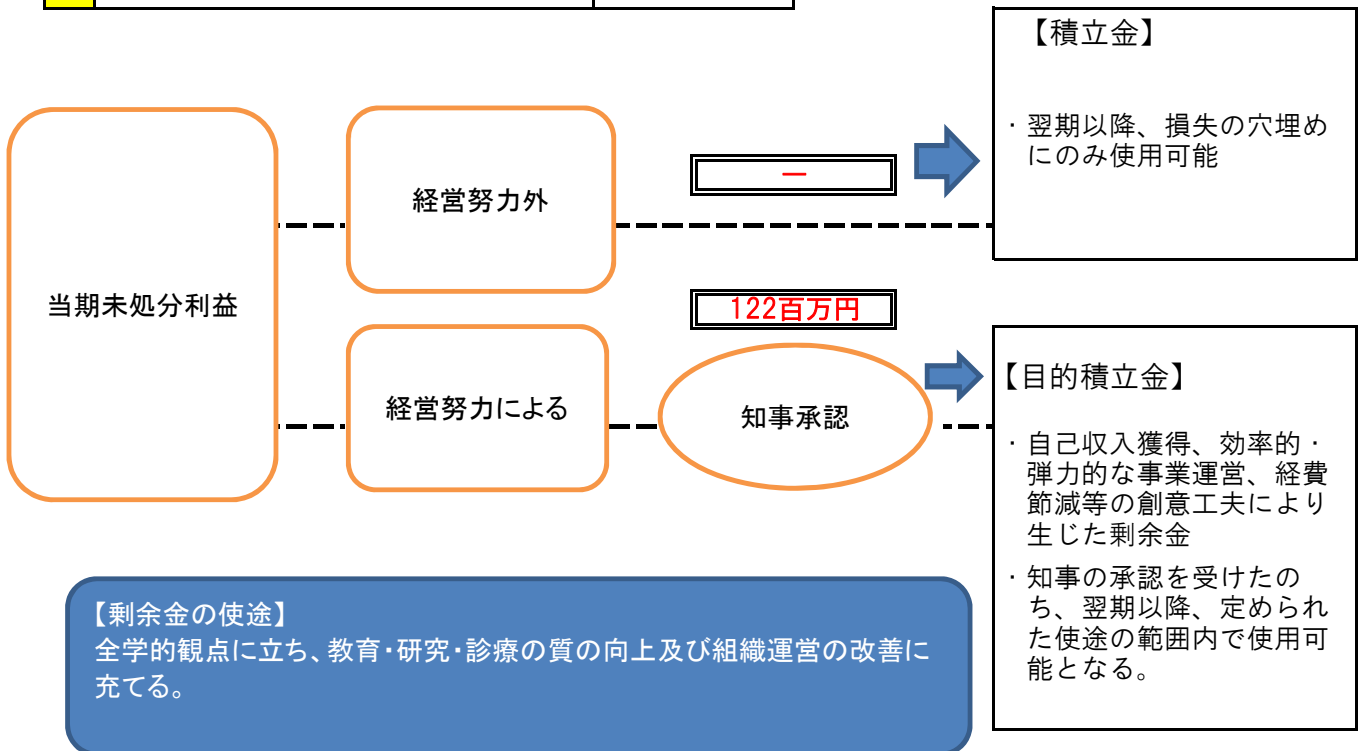


## 利益の処分に関する書類

注)各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位:百万円)

<b>I 当期末処分利益</b>	122
当期末総利益	122
<b>II 利益処分額</b>	122
目的積立金	122
積立金	-



※ 公立大学法人には、株主のような営利目的の資本主が存在しませんので、利益を資本に配分することはありません。

そのため、獲得した利益のうち、運営努力（経営努力）から生じた利益については、北海道知事の承認を受けた後、次年度以降に中期計画の「剰余金の使途」に従って使用することが認められています。

## 決算報告書～予算の区分による決算を明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

区 分	予算	決算	差額	備考
<b>収入</b>	<b>35,437</b>	<b>37,262</b>	<b>1,825</b>	
運営費交付金	6,685	6,762	77	※1)
施設整備費補助金	1,194	1,094	▲ 100	※2)
自己収入	25,740	25,774	34	
授業料及び入学検定料収入	821	808	▲ 13	※3)
附属病院収入	24,272	24,440	168	※4)
雑収入	647	526	▲ 121	※5)
受託研究等収入及び寄附金収入等	839	2,753	1,914	※6)
長期借入金収入	879	879	0	
目的積立金取崩収入	100	0	▲ 100	※7)
<b>支出</b>	<b>35,437</b>	<b>35,239</b>	<b>▲ 198</b>	
業務費	32,021	31,659	▲ 362	
教育研究経費	1,715	1,620	▲ 95	※8)
診療経費	13,771	13,912	141	※9)
人件費	15,975	15,646	▲ 329	※10)
一般管理費	560	481	▲ 79	※11)
施設整備費	2,073	1,973	▲ 100	※12)
受託研究等経費及び寄附金事業費等	816	1,082	266	※13)
長期借入金償還金	527	525	▲ 2	
<b>収入－支出</b>	<b>0</b>	<b>2,023</b>	<b>2,023</b>	

注) 決算報告書とは、公立大学法人等の運営の見込みである年度計画の予算と決算を対比して表すことにより、その運営状況を報告しようとするものです。官庁会計に準じ、現金主義を基礎としつつ出納整理期の考え方を踏まえて一部発生主義を取り入れたもので、収入・支出ベースで表示しています。

- ※1) 北海道との協議により運営費交付金の一部を増額したため、予算額に比して決算額が77百万円増加しました。
- ※2) 入札結果に基づく契約確定額の減等により、予算額に比して決算額が100百万円減少しました。
- ※3) 休学者の増に伴う授業料収入の減等により、予算額に比して決算額が13百万円減少しました。
- ※4) 入院・外来診療単価の上昇等により、予算額に比して決算額が168百万円増加しました。
- ※5) 文部科学省補助金の収入減等により、予算額に比して決算額が121百万円減少しました。
- ※6) 寄附金及び受託研究の獲得に努めたことに加え、前年度からの繰越等1,456百万円があったことにより、予算額に比して決算額が1,914百万円増加しました。
- ※7) 病院増築棟に係る初度調弁の執行時期を翌年度に変更したため、予算額に比して決算額が100百万円減少しました。
- ※8) ※5) で示した理由により、予算額に比して決算額が95百万円減少しました。
- ※9) ※4) で示した理由により、予算額に比して決算額が141百万円増加しました。
- ※10) 教職員人件費や退職手当所要額の減により、予算額に比して決算額が329百万円減少しました。
- ※11) 各種経費の節減等により予算額に比して決算額が79百万円減少しました。
- ※12) ※2) に示した理由により、予算額に比して決算額が100百万円減少しました。
- ※13) 寄附金事業費等の増により、予算額に比して決算額が266百万円増加しました。

## ○過去6年間の推移

### 財務情報一覧

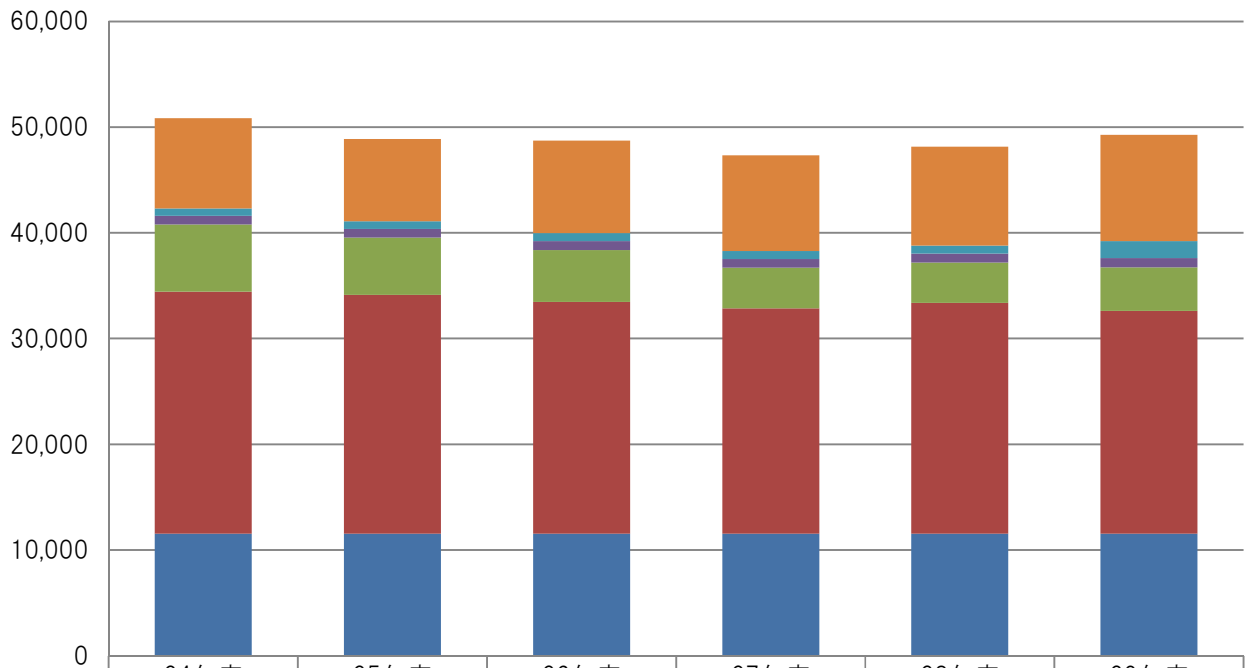
- 本学の財務情報を一覧で表示しています。
- 各項目の詳細については、それぞれのページを参照願います。

(単位：億円)

区分	情報の種類	項目等	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	ページ
資産・負債 ・純資産	年度末時点 での財務の 状況	資産	508	489	487	473	481	492	P10 ～ P11
		うち固定資産	423	411	400	382	388	392	
		負債	122	117	121	114	118	135	
		うち借入金	13	13	13	13	13	17	
		純資産	386	372	366	359	363	357	
費用・収益	1年間の財務 運営の状況	経常費用	299	310	319	325	324	335	P12 ～ P13
		うち人件費	145	147	150	154	152	156	
		経常収益	308	311	320	326	326	337	
		うち運営費交付金	60	56	59	61	59	62	
利益と 利益処分	利益の発生 要因	当期総利益	17	2	1	1	0	1	P14
		目的積立金	-	2	1	1	0	1	
		積立金	17	-	-	-	0	-	
附属病院 業務損益	附属病院の 1年間の財務 運営状況	業務費用	218	228	236	240	243	249	P15
		業務収益	225	230	236	240	243	249	
		業務利益	7	1	0	0	0	0	
キャッシュ ・フロー	資金の流れ (活動ごとの 現金の収入 と支出の差)	業務活動	14	20	20	24	12	15	P16
		投資活動	▲8	▲22	▲3	▲13	▲6	▲9	
		財務活動	▲7	▲7	▲7	▲7	▲6	▲3	
		資金期末残高	36	27	37	41	40	43	
業務実施 コスト	本学への 住民負担	実施コスト	78	84	86	85	87	93	P17

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

## 資産

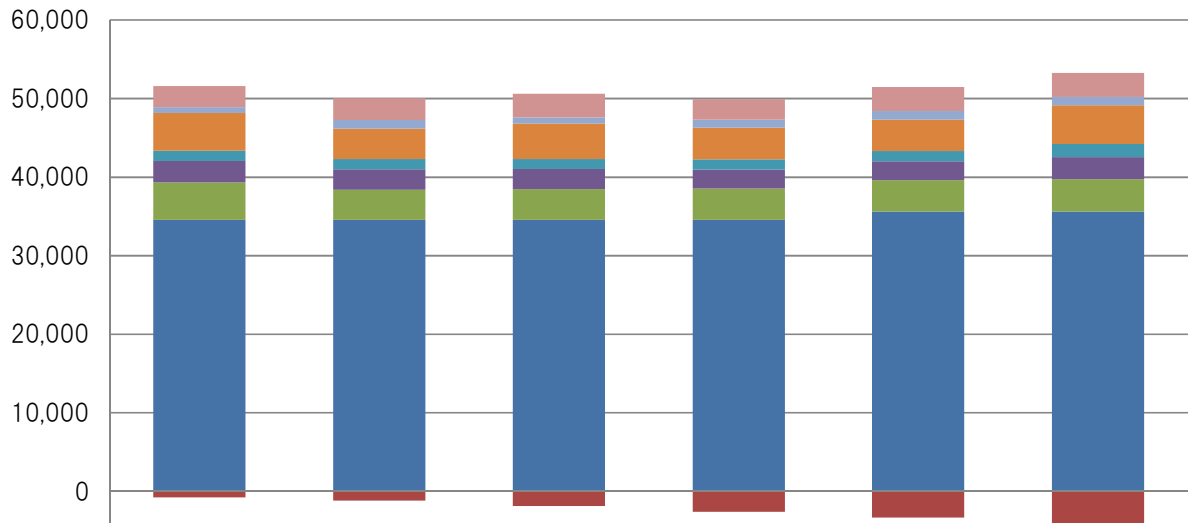


■流動資産	8,532	7,758	8,763	9,060	9,343	10,032
■その他	705	741	744	749	753	1,623
■図書	814	825	834	839	843	850
■設備	6,350	5,413	4,901	3,830	3,818	4,138
■建物	22,879	22,572	21,930	21,310	21,839	21,071
■土地	11,544	11,544	11,544	11,544	11,535	11,535

(単位：百万円)

区分	29年度	構成比	資産説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
流動資産	流動資産	20.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現預金、有価証券（1年以内）</li> <li>・未収附属病院収入</li> <li>・未収学生納付金収入</li> <li>・病院医薬品在庫</li> </ul>	689	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現預金増242</li> <li>・病院収入増に伴う未収増372</li> <li>・病院医薬品在庫増1</li> <li>・未収入金増56</li> </ul>
固定資産	図書等	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特許権</li> <li>・長期貸付金</li> <li>・未収財源措置予定額</li> </ul>	870	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期貸付金増11</li> <li>・未収財源措置予定額513</li> </ul>
		図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書籍</li> <li>・CD-ROM</li> <li>・雑誌（製本済みのもの）</li> </ul>	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当期取得10</li> <li>・当期除籍▲3</li> </ul>
	設備建物	設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験、診療器具</li> <li>・車両運搬具</li> </ul>	320	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当期取得1,846</li> <li>【減価償却負担▲1,526】</li> </ul>
		建物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎、研究所</li> <li>・病院</li> <li>・宿舍、学生寮</li> <li>・ファミリーハウス</li> </ul>	▲768	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当期取得394</li> <li>【減価償却負担▲1,162】</li> <li>・施設の改修工事</li> </ul>
	土地	土地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の敷地</li> <li>・グラウンド</li> </ul>	0	・昨年度と同

## 負債・純資産



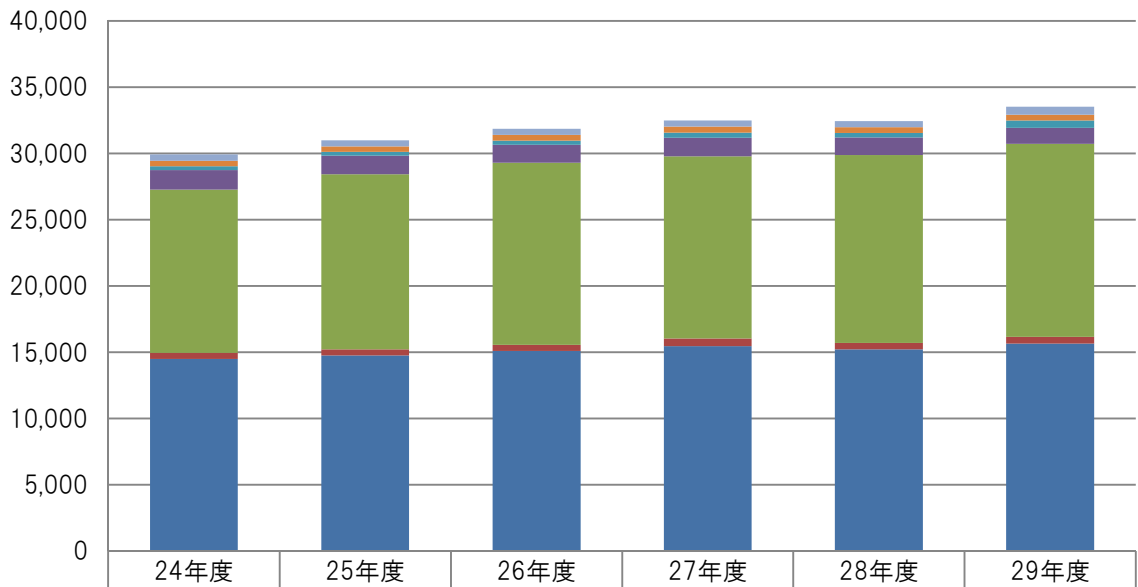
▲ 10,000

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
■ その他債務	2,691	2,756	2,999	2,629	3,032	3,048
■ 寄附金債務	746	1,124	776	998	1,107	1,066
■ 未払金	4,795	3,876	4,506	4,042	3,979	4,945
■ 借入金	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,659
■ 資産見返負債	2,718	2,618	2,563	2,409	2,426	2,821
■ 利益剰余金	4,768	3,802	3,884	3,974	3,982	4,105
■ 資本剰余金	▲ 777	▲ 1,209	▲ 1,897	▲ 2,605	▲ 3,330	▲ 4,029
■ 資本金	34,585	34,585	34,585	34,585	35,635	35,635

(単位：百万円)

区分	29年度	構成比	負債・純資産説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
負債	その他債務	6.2%	・繰越して使用予定の交付金 ・繰越して使用予定の受託研究費 ・預り科学研究費補助金等	16	・リース債務増164 ・運営費交付金債務減▲163 ・受託等債務減▲19
		2.2%	・繰越して使用予定の寄附金	▲ 41	・寄附金債務減▲41
	未払金	10.0%	・平成30年4月支払の経費	966	・4月以降支払予定の未払金 (工事、工事器具備品等)の増
	借入金	3.4%	・大学病院の借入金残高 (機器整備)	359	・北海道からの借入金増359
	資産見返負債	5.7%	・建築設備取得に使用した交付金、 授業料、寄附金の減価償却費を 除いた残高	395	・道からの承継資産償却額▲32 ・補助金財源償却額▲95 ・交付金財源の購入に伴う増80
純資産	利益剰余金	8.3%	・目的積立金(29年度末分) ・繰越積立金(第1期分) ・未処分利益(当期総利益)	123	・当期総利益113 ・目的積立金9
	資本剰余金	-8.2%	・施設費や目的積立金による固定 資産の取得額 ・当期の損益外減価償却累計額	▲ 699	・施設整備補助金財源取得533 ・当期損益外減価償却等▲1,229
	資本金	72.4%	・法人移行時に道から土地・建物 等の現物で受けた出資金	0	・昨年度と同

## 経常費用

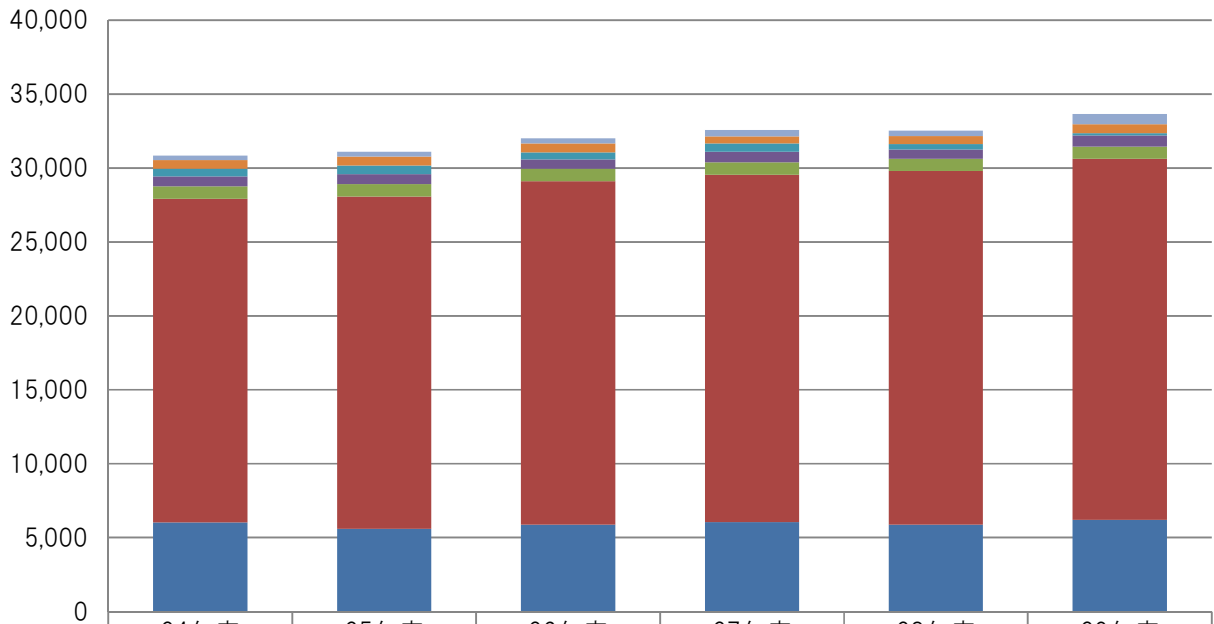


	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
■教育経費	488	463	477	461	464	619
■教育研究支援経費	417	412	431	459	430	421
■受託研究費等	284	296	316	375	326	571
■研究経費	1,483	1,398	1,333	1,421	1,334	1,207
■診療経費	12,306	13,204	13,751	13,735	14,175	14,553
■一般管理費等	471	472	473	585	481	513
■人件費	14,476	14,747	15,079	15,445	15,215	15,646

(単位：百万円)

区分	29年度	構成比	費用説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
教育	教育経費	1.8%	・学生に対し行われる教育に要する経費	155	・新棟移転に伴う備品購入増等による教育経費の増
	教育研究支援経費	1.3%	・附属総合情報センター（図書館含む）に要する経費	▲ 9	・図書整備費の減
研究	受託研究等	1.7%	・外部から委託を受けて行う受託研究 ・民間等からの研究者及び研究費を受入、共同で行う研究	245	・受託研究に係る費用増 ・受託事業に係る費用増
	研究経費	3.6%	・研究に要する経費	▲ 127	・補助金財源の費用減
診療	診療経費	43.4%	・大学病院における診療の実施に要する経費	378	・医薬材料費の増 ・減価償却費の減 ・光熱費の増
管理運営	一般管理費等	1.5%	・管理運営に要する経費 ・財務費用	32	・新棟移転に伴う廃棄物処理費等の増 ・光熱費の増
	人件費	46.7%	・一般運営財源、寄附金、補助金を財源とする給与等（受託に係る人件費は含まない）	431	・給与改定及び人数増等に伴う給与増 ・退職手当の増

## 経常収益



	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
■受託等	304	322	346	421	371	684
■寄附金	584	624	591	479	542	596
■補助金	515	569	473	560	367	156
■その他	671	679	646	725	626	770
■学生納付金	838	840	834	835	827	808
■病院収益	21,903	22,493	23,251	23,502	23,943	24,440
■交付金	6,031	5,591	5,873	6,054	5,875	6,202

(単位：百万円)

区分	29年度	構成比	収益説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
外部資金	受託等	2.0%	・受託研究 ・受託事業 ・共同研究	313	・受託研究等の収益化額の増
	寄附金	1.8%	・奨学寄附金 ・寄附講座	54	・寄附講座等の収益化額の増
	補助金	0.5%	・大学改革推進費 (GP) ・研究開発施設共用等促進費	▲ 211	・橋渡し研究補助金に係る補助金等の収益化額の減
その他	その他	2.3%	・研究関連収入 (間接経費) ・財産貸付料収入 ・資産見返負債戻入 ・受取利息	144	・施設費収益の増 ・その他の雑益の増 ・資産見返負債戻入の減
学納金	学生納付金	2.4%	・授業料 ・入学料 ・検定料	▲ 19	・大学院生の減
診療	病院収益	72.6%	・附属病院収入 (外来・入院)	497	・入院診療収益増198 ・外来診療収益増297 ・文書料収益増3
交付金	運営費交付金	18.4%	・運営費交付金収入	327	・退職手当の増による収益化額の増

## 利益と利益処分の推移

(単位：百万円)

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
経常収益	30,846	31,118	32,014	32,575	32,551	33,656
経常費用	29,926	30,993	31,860	32,481	32,426	33,531
経常利益	920	126	154	94	125	126
臨時損益	618	1	▲ 3	▲ 5	▲ 116	▲ 3
目的積立金取崩	159	81	2	0	0	0
当期総利益	1,697	208	153	89	9	122

### 当期総利益の内訳

(単位：百万円)

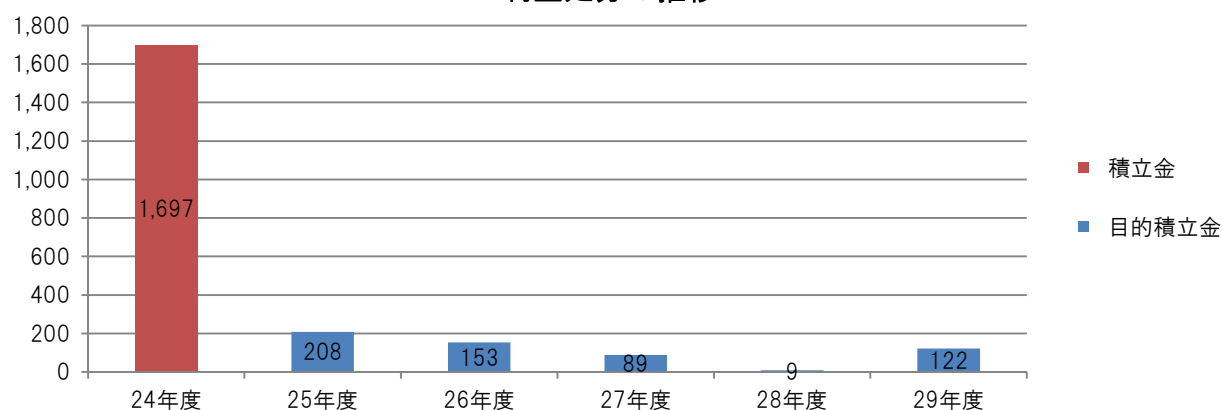
区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
目的積立金	-	208	153	89	9	122
積立金	1697	-	-	-	-	-

経常利益は、損益計算書に計上している経常収益と経常費用の差額です。

当期総利益は、経常利益に固定資産除却損等の臨時損益と目的積立金取崩を加えた利益であり、目的積立金と積立金に利益処分されます。

なお、平成24年度は中期目標期間最終年度のため会計基準に基づき、全額を積立金として整理し、平成25年度以降は全額を目的積立金として承認されています。

### 利益処分の推移



29年度	利益処分	利益処分の発生要因等
当期総利益 122百万円	目的積立金 122百万円	(主な発生要因) ・ 附属病院診療収入の増加に伴う収益の増 ・ 人件費の節減 ・ 各種経費の節減
	積立金 —	—

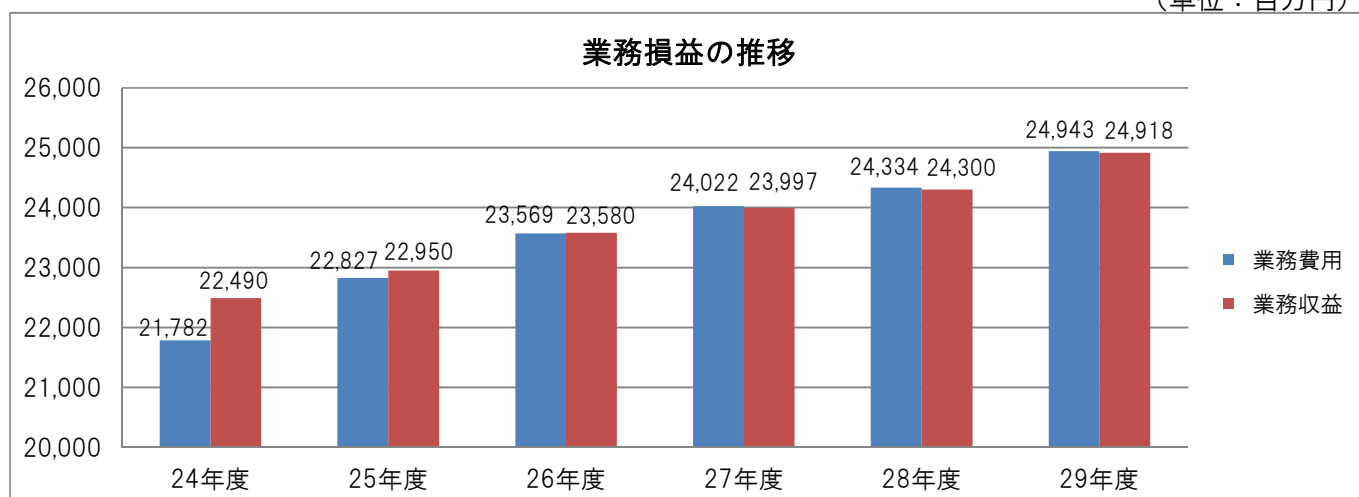


## 附属病院業務損益の推移

(単位：百万円)

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
業務費用	21,782	22,827	23,569	24,022	24,334	24,943
業務収益	22,490	22,950	23,580	23,997	24,300	24,918
業務損益	708	123	11	▲ 25	▲ 34	▲ 25

(単位：百万円)



### 【業務費用】

(単位：百万円)

29年度		業務費用説明	前年度との比較	
区分	金額		増減	特記事項
その他	85	・教育経費、研究経費、 受託研究費、受託事業費 ・財務費用	9	・受託費用の増
	0.3%			
人件費	10,305	・臨床系教員 ・医員、研修医 ・看護師、技師、事務職員	221	・退職手当の増
	41.3%			
診療経費	14,553	・診療の実施に要する経費 (医薬品、診療材料、医療 消耗品器具費、委託費、 減価償却費、修繕費、 機器保守費、水道光熱費 等経費)	378	・医薬材料費の増 ・光熱水費の増
	58.3%			

### 【業務収益】

(単位：百万円)

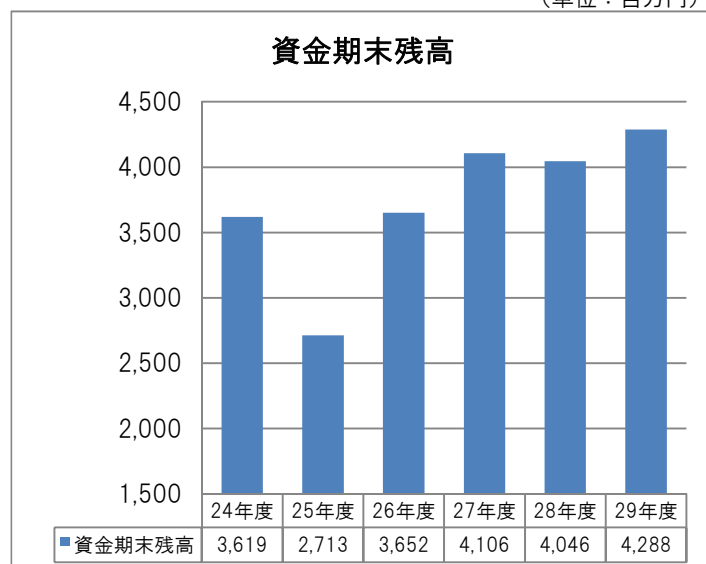
29年度		業務収益説明	前年度との比較	
区分	金額		増減	特記事項
その他	330	・受託研究、寄附金等の 外部資金収益 ・資産見返負債戻入等	1	・施設費収益の増
	1.3%			
病院運営 費交付金 収益	148	・附属病院に係る交付金	120	・退職手当増に伴う収益の増
	0.6%			
病院収益	24,440	・外来収益 ・入院収益 ・文書料	497	・入院診療収益増198 (入院患者数：274,857人) ・外来診療収益増297 (外来患者数：418,037人)
	98.1%			

## キャッシュ・フローの推移

(単位：百万円)

表示区分	説明	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
①業務活動によるキャッシュ・フロー	通常の業務活動（投資・財務活動以外）の取引に係る収入と支出の差額	1,366	1,965	2,005	2,415	1,193	1,454
	(収入) 運営費交付金、附属病院収入、授業料、受託研究等、寄附金	30,973	31,641	31,892	32,312	32,300	32,854
	(支出) 人件費支出、原材料・商品・サービス購入による支出	▲ 29,607	▲ 29,676	▲ 29,887	▲ 29,897	▲ 31,106	▲ 31,400
②投資活動によるキャッシュ・フロー	資産の取得及び売却等の取引に係る収入と支出の差額	▲ 796	▲ 2,166	▲ 329	▲ 1,281	▲ 642	▲ 935
	固定資産の取得及び売却の取引	▲ 604	▲ 2,164	▲ 380	▲ 1,432	▲ 643	▲ 936
	(収入) 施設費による収入、資産売却による収入	467	519	547	572	585	586
	(支出) 建物・設備の取得、除却	▲ 1,071	▲ 2,683	▲ 927	▲ 2,004	▲ 1,227	▲ 1,522
	投資資産の取得及び売却の取引	▲ 193	▲ 2	51	151	1	1
	(収入) 定期預金の払戻、有価証券の償還	1,998	2,094	3,001	3,291	4,887	1,868
	(支出) 定期預金・有価証券の取得	▲ 2,191	▲ 2,096	▲ 2,950	▲ 3,140	▲ 4,886	▲ 1,867
③財務活動によるキャッシュ・フロー	資金調達及び返済の取引に係る収入と支出の差額	▲ 725	▲ 705	▲ 737	▲ 680	▲ 612	▲ 277
	(収入) 長期借入による収入	520	520	520	520	520	879
	(支出) 借入金の返済、利息の支払、ファイナンスリース債務の返済	▲ 1,245	▲ 1,225	▲ 1,257	▲ 1,200	▲ 1,132	▲ 1,156
④資金増減額	当期中の現預金（拘束性のない手元現金・当座預金・普通預金）増減額	▲ 155	▲ 906	939	454	▲ 60	242
⑤資金期首残高	前期末現預金残高	3,774	3,619	2,713	3,652	4,106	4,046
⑥資金期末残高	当期末現預金残高	3,619	2,713	3,652	4,106	4,046	4,288

(単位：百万円)



○キャッシュ・フロー計算書は、一定期間における「お金（キャッシュ）」の「流れ（フロー）」を表しています。

○損益計算書には表れない固定資産取得や借入・借入返済等も含めて、「現金」の受払の全てを表示しています。

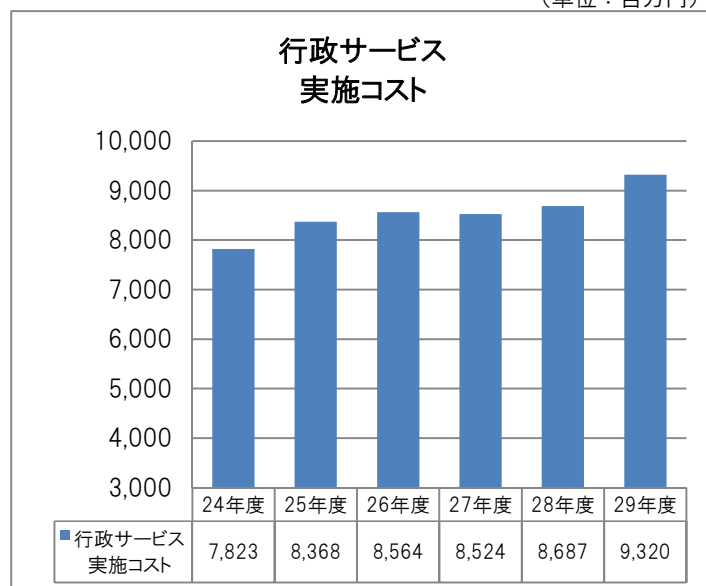
○損益計算書だけでは読み取ることができない経営状況、経営努力、経営方針等を把握することが可能であり、民間企業においても重視されている計算書です。

## 業務実施コストの推移

(単位：百万円)

	表示区分	説明	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
機会費用	国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	国や地方公共団体から市場価格よりも廉価で賃借している土地等（職員宿舎、課外活動敷地など）について、市場価格で賃借したならば得られたはずの金額を住民等が得られなかった利益喪失の費用として認識する。	16	14	112	202	6	519
	地方公共団体出資の機会費用等	出資金、地方公共団体から拠出された資本剰余金等について、その金額を市場で運用したならば得られたはずの金額を住民等が得られなかった利益喪失の費用として認識する。	186	210	129	—	21	14
損益外減価償却等	・損益外減価償却相当額 ・損益外減損損失相当額等	施設費等で取得した建物に係る減価償却費等は、損益計算書に費用として反映させていないが、最終的には住民等の負担となるため、業務運営費用と認識する。	1,038	1,150	1,324	1,207	1,235	1,242
	・引当外賞与増加見積額 ・引当外退職給付増加見積額	運営費交付金を財源とする教職員に係る賞与と退職金は、損益計算書に費用（引当金）として反映させないが、最終的には住民等の負担となるため業務運営費用と認識する。	504	508	359	144	806	790
業務費用	損益計算書上の費用	経常費用と臨時損失の合計	29,928	31,000	31,863	32,486	32,545	33,540
	(控除)自己収入等	自己収入（授業料、病院収益等） ※住民等の負担ではないので控除する。	▲ 23,849	▲ 24,513	▲ 25,223	▲ 25,515	▲ 25,925	▲ 26,785
<b>行政サービス実施コスト</b>			<b>7,823</b>	<b>8,368</b>	<b>8,564</b>	<b>8,524</b>	<b>8,687</b>	<b>9,320</b>

(単位：百万円)



○公立大学法人は、その業務を行うために、納税者である住民等から、財産（税金・土地・建物等）を負託されています。

○このため、「行政サービス実施コスト計算書」を作成して、最終的に住民等の負担となるコストを示しています。民間企業にはない財務諸表です。

○通常、コスト情報としては損益計算書中の費用の部が挙げられますが、そこから法人の自己収入分を減じたものに、制度上費用に含まれない退職給付引当金の負担増加額や、国・地方公共団体が政策的に免除している経費を加えることにより、大学の運営に要したコスト負担額をより明らかにするものです。

## ○財務指標（年度間比較）

指標	指標算出方法	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	増減（前年比較）	評価
流動比率 【貸借対照表】	流動資産÷流動負債	131.8 %	120.0 %	125.5 %	137.4 %	138.5 %	132.5 %	▲ 6.0 %	高い値が良い ↓
	流動資産	8,532 百万円	7,758 百万円	8,763 百万円	9,060 百万円	9,343 百万円	10,032 百万円	689 百万円	
	流動負債	6,471 百万円	6,465 百万円	6,984 百万円	6,592 百万円	6,747 百万円	7,570 百万円	823 百万円	
自己資本比率 【貸借対照表】	資本（純資産）÷（負債＋資本（純資産））	75.9 %	76.1 %	75.1 %	76.0 %	75.4 %	72.5 %	▲ 2.9 %	高い値が良い ↓
	資本（純資産）	38,575 百万円	37,179 百万円	36,572 百万円	35,954 百万円	36,288 百万円	35,711 百万円	▲ 577 百万円	
	負債	12,249 百万円	11,673 百万円	12,144 百万円	11,378 百万円	11,844 百万円	13,539 百万円	1,695 百万円	
	負債＋資本（純資産）	50,825 百万円	48,852 百万円	48,716 百万円	47,332 百万円	48,131 百万円	49,250 百万円	1,119 百万円	
経常利益比率 【損益計算書】	経常利益÷経常収益	3.0 %	0.4 %	0.5 %	0.3 %	0.4 %	0.4 %	▲ 0.0 %	高い値が良い ↓
	経常利益	920 百万円	126 百万円	154 百万円	94 百万円	125 百万円	126 百万円	1 百万円	
	経常収益	30,846 百万円	31,118 百万円	32,014 百万円	32,575 百万円	32,551 百万円	33,656 百万円	1,105 百万円	
人件費対業務費 【損益計算書】	人件費÷業務費	49.1 %	48.3 %	48.0 %	48.4 %	47.6 %	47.4 %	▲ 0.2 %	低い値が良い ↑
	人件費	14,476 百万円	14,747 百万円	15,079 百万円	15,445 百万円	15,215 百万円	15,646 百万円	431 百万円	
	業務費	29,455 百万円	30,521 百万円	31,387 百万円	31,897 百万円	31,945 百万円	33,017 百万円	1,072 百万円	
一般管理費対業務費 【損益計算書】	一般管理費÷業務費	1.6 %	1.5 %	1.5 %	1.8 %	1.5 %	1.5 %	0.1 %	低い値が良い ↓
	一般管理費	457 百万円	461 百万円	464 百万円	577 百万円	474 百万円	508 百万円	34 百万円	
	業務費	29,455 百万円	30,521 百万円	31,387 百万円	31,897 百万円	31,945 百万円	33,017 百万円	1,072 百万円	
外部資金比率 【損益計算書】	(受託研究等収益＋受託事業等収益＋寄附金収益)÷経常収益	2.9 %	3.0 %	2.9 %	2.8 %	2.8 %	3.8 %	1.0 %	高い値が良い ↑
	①受託研究収益＋受託事業収益	304 百万円	322 百万円	346 百万円	420 百万円	371 百万円	684 百万円	313 百万円	
	②寄附金収益	584 百万円	624 百万円	591 百万円	479 百万円	542 百万円	596 百万円	54 百万円	
	経常収益	30,846 百万円	31,118 百万円	32,014 百万円	32,575 百万円	32,551 百万円	33,656 百万円	1,105 百万円	
外部資金比率 (科学研究費補助金を含む) 【損益計算書】 【附属明細書】	(受託研究等収益＋受託事業等収益＋寄附金収益＋科学研究費補助金)÷経常収益	4.7 %	4.8 %	4.8 %	3.8 %	3.9 %	4.9 %	1.0 %	高い値が良い ↑
	上記 ①＋②	888 百万円	946 百万円	937 百万円	899 百万円	913 百万円	1,280 百万円	367 百万円	
	科学研究費補助金	554 百万円	554 百万円	596 百万円	342 百万円	346 百万円	368 百万円	22 百万円	
	経常収益	30,846 百万円	31,118 百万円	32,014 百万円	32,575 百万円	32,551 百万円	33,656 百万円	1,105 百万円	
診療経費比率 【損益計算書】	診療経費÷附属病院収益	56.2 %	58.7 %	59.1 %	58.4 %	59.2 %	59.5 %	0.3 %	低い値が良い ↓
	診療経費	12,306 百万円	13,204 百万円	13,751 百万円	13,735 百万円	14,175 百万円	14,553 百万円	378 百万円	
	附属病院収益	21,903 百万円	22,493 百万円	23,251 百万円	23,502 百万円	23,943 百万円	24,440 百万円	497 百万円	
1病床あたりの 附属病院収益 【損益計算書】	附属病院収益÷病床数	23.4 百万円	24.0 百万円	24.8 百万円	25.1 百万円	25.5 百万円	26.1 百万円	0.5 百万円	高い値が良い ↑
	附属病院収益	21,903 百万円	22,493 百万円	23,251 百万円	23,502 百万円	23,943 百万円	24,440 百万円	497 百万円	
	病床数	938 床	938 床	938 床	938 床	938 床	938 床	0 床	
学生1人あたりの 教育経費 【損益計算書】	教育経費÷学生数	370 千円	349 千円	354 千円	341 千円	347 千円	474 千円	127 千円	高い値が良い ↑
	教育経費	488 百万円	463 百万円	477 百万円	461 百万円	464 百万円	619 百万円	155 百万円	
	学生数	1,320 人	1,328 人	1,347 人	1,352 人	1,336 人	1,305 人	▲ 31 人	
教員1人あたりの 研究費 【損益計算書】	研究経費÷教員数	3,862 千円	3,641 千円	3,409 千円	3,672 千円	3,483 千円	3,079 千円	▲ 404 千円	高い値が良い ↓
	研究経費	1,483 百万円	1,398 百万円	1,333 百万円	1,421 百万円	1,334 百万円	1,207 百万円	▲ 127 百万円	
	教員数	384 人	384 人	391 人	387 人	383 人	392 人	9 人	
教育経費対 業務費比率 【損益計算書】	教育経費÷業務費	1.7 %	1.5 %	1.5 %	1.4 %	1.5 %	1.9 %	0.4 %	高い値が良い ↑
	教育経費	488 百万円	463 百万円	477 百万円	461 百万円	464 百万円	619 百万円	155 百万円	
	業務費	29,455 百万円	30,521 百万円	31,387 百万円	31,897 百万円	31,945 百万円	33,017 百万円	1,072 百万円	
研究経費対 業務費比率 【損益計算書】	研究経費÷業務費	5.0 %	4.6 %	4.2 %	4.5 %	4.2 %	3.7 %	▲ 0.5 %	高い値が良い ↓
	研究経費	1,483 百万円	1,398 百万円	1,333 百万円	1,421 百万円	1,334 百万円	1,207 百万円	▲ 127 百万円	
	業務費	29,455 百万円	30,521 百万円	31,387 百万円	31,897 百万円	31,945 百万円	33,017 百万円	1,072 百万円	

(※) 財務指標の評価は、個々の内部事情を個別に判断しなければ一概にその良否を言えないが、あくまで一般的な財務指標の高低の評価を記載した。

## 資料編

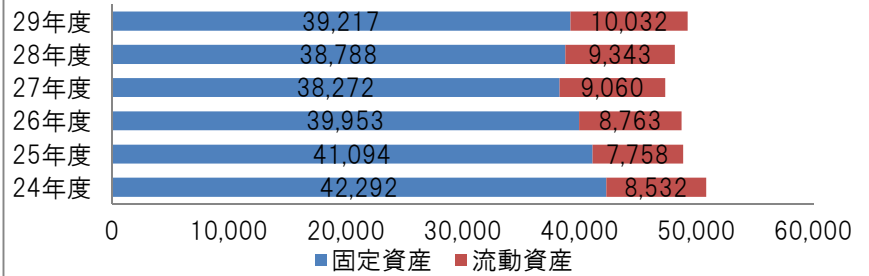


## ○貸借対照表

### 資産の部

49,250 百万円

対前年度  
1,119 百万円



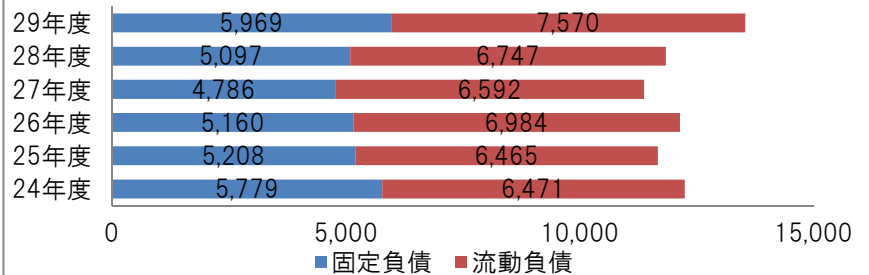
資産の約8割は、土地・建物等の固定資産により構成されており、そのほとんどは平成19年4月1日の公立大学法人化により道から承継されたものです。

毎年度、計画的な施設整備・維持・充実を図っており、平成29年度については、空調機等の更新工事、また教育・研究・診療の機械備品等の新規購入や更新した一方で、減価償却費等の負担が増加したことにより資産が増加しています。

### 負債の部

13,539 百万円

対前年度  
1,695 百万円



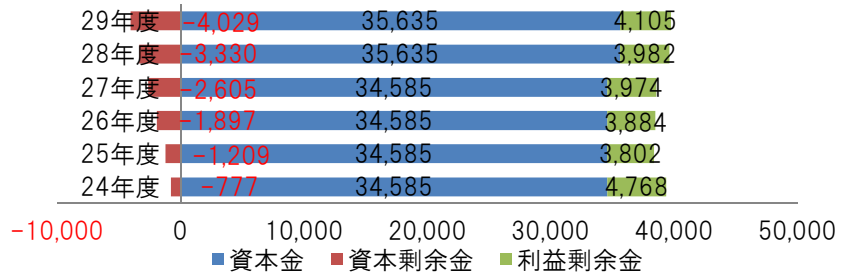
負債は、会計基準上の分類である固定・流動の別のほかに、将来的に支払義務を負う債務（借入金等）と、支払義務のない会計的負債（資産見返負債等）に分類できます。

平成29年度は、建設中を含む固定資産の取得に係る資産見返負債が増加した一方で、運営費交付金債務が減少しています。

### 純資産の部

35,711 百万円

対前年度  
▲ 576 百万円



純資産には、公立大学法人化の際に道から出資された資本金（道出資金）のほか、資本の増減取引により発生する資本剰余金と、業務の遂行上生じた利益からなる利益剰余金があります。

平成29年度は、施設整備費補助金を財源とする資産取得増の一方で、これらの施設等の減価償却分を計上しているため、資本剰余金が減少しています。

## 資 産

土地	11,535 百万円	対前年度	0 百万円
建物等	21,071 百万円	対前年度	▲ 768 百万円
建設仮勘定	376 百万円	対前年度	358 百万円

本学は札幌市内に約10万㎡の敷地を有し、キャンパスのほか、臨床教育研究棟、附属病院、基礎医学研究棟、国際医学交流センター、記念ホールなどの施設を有しています。平成29年度は、長期保全計画に基づく施設の整備・維持・充実を図った一方で、減価償却費の負担が発生している状況となっています。

工具器具备品	4,138 百万円	対前年度	320 百万円
図書	850 百万円	対前年度	7 百万円

工具器具备品は、教育・研究・診療等で使用する機械装置の取得など、適切に設備等を更新している一方で、購入を上回る減価償却費の負担が発生している状況となっています。

図書については、教育研究を行う上で基礎となる重要な資産として位置づけており、教育・研究の質の維持向上のため、図書整備経費を確保しています。

現金・預金	4,288 百万円	対前年度	242 百万円
-------	-----------	------	---------

期末の現金・預金は、利益剰余金のほか、主に年度末の未払金見合いの現金や寄附金等の外部資金の繰越額等からなります。

未収入金	5,332 百万円	対前年度	429 百万円
未収学生納付金収入	0 百万円	対前年度	0 百万円
未収附属病院収入	5,192 百万円	対前年度	372 百万円
その他未収金	140 百万円	対前年度	57 百万円

期末の未収入金は、未収学生納付金収入、未収附属病院収入、それ以外の未収入金（受託研究等、受託事業等の未収金など）からなります。

平成29年度末においては、附属病院収益が増加したことにより、未収附属病院収入が372百万円増加しています。

## 負 債

資産見返負債	2,821 百万円	対前年度	396 百万円
--------	-----------	------	---------

道から交付される運営費交付金等で購入した固定資産（償却資産）の残存価格を負債として計上したもので、公立大学法人の会計の特徴的な勘定科目です。対象資産の減価償却額と同額を収益へ振り替えることで、収入を見込むことのできない教育研究用の機器備品等の減価償却費計上による費用超過が生じない仕組みとなっています。返済義務を伴う法律上の負債とは性格が異なります。



借入金（固定負債）	1,659 百万円	対前年度	359 百万円
借入金（流動負債）	520 百万円	対前年度	0 百万円

道からの借入金は附属病院の医療機器等の固定資産を購入するための財源となっており、毎年度520百万円の借り入れを行っています（1年据え置きの4年間での償還）。  
なお、1年以内に返済が予定されている金額は流動負債に計上しています。

運営費交付金債務	396 百万円	対前年度	▲ 164 百万円
----------	---------	------	-----------

道から交付を受けた運営費交付金は、一旦負債として計上した後、教育・研究等の実施状況に応じて収益に計上します。原則として期間の進行に伴い収益化しますが、特定の費用については、運営費交付金債務として翌年度への繰越が認められています。

寄附金債務	1,066 百万円	対前年度	▲ 41 百万円
-------	-----------	------	----------

企業や地域の皆様から本学へお寄せいただいた寄附金の残額等を表します。受入時は貸借対照表の負債に計上し、寄附の目的に沿って使用した後に、費用進行基準により損益計算書の収益の部に計上しています。

未払金	4,945 百万円	対前年度	966 百万円
-----	-----------	------	---------

ほとんどが年度末の各種請求に対する支払債務であり、それらは翌年度の当初に支払いが行われます。

## 純 資 産

資本金	35,635 百万円	対前年度	0 百万円
-----	------------	------	-------

法人化にあたって道から出資を受けた資産の総額です。

資本剰余金	▲ 4,029 百万円	対前年度	▲ 699 百万円
-------	-------------	------	-----------

非償却資産の取得、施設費や目的積立金を財源とした資産の取得等に伴う増加や特定償却資産の減価償却相当額見合いの減少などを計上しています。

利益剰余金	4,105 百万円	対前年度	123 百万円
-------	-----------	------	---------

業務に関連して発生した剰余金を示します。平成29年度は当期の未処分利益122百万円獲得しています。

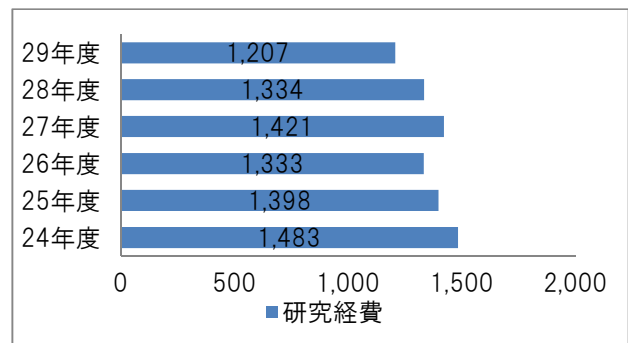
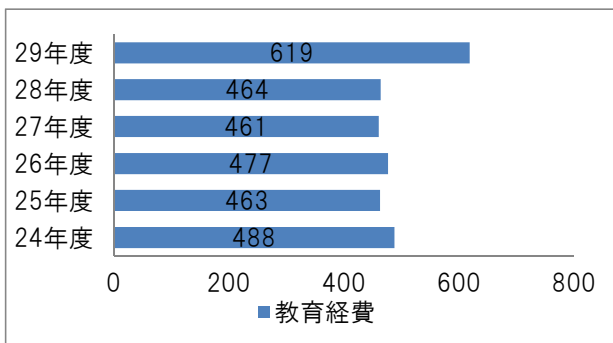
# ○損益計算書

## 経常費用

教育経費	研究経費
619 百万円 対前年度 155百万円	1,207 百万円 対前年度 ▲127百万円

・入学試験、学部教育など学生等に対して行われる教育に要する経費です。奨学費（授業料等の減免額に相当）、教育環境の維持費用等が含まれています。

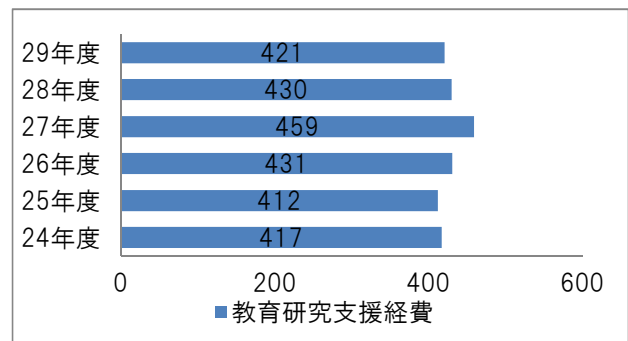
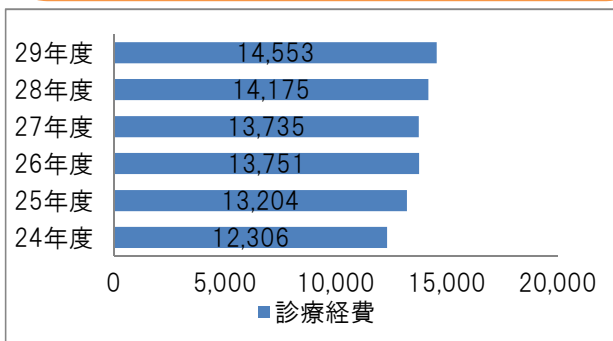
・各学部や研究所等における研究に要する経費です。  
・平成29年度は、補助金事業が減少したことに伴い、経費が減少しています。



診療経費	教育研究支援経費
14,553 百万円 対前年度 378百万円	421 百万円 対前年度 ▲9百万円

・附属病院における附属病院収益の獲得に要する経費です。診療活動の活発化による収益増に伴い、経費が増加する傾向があります。

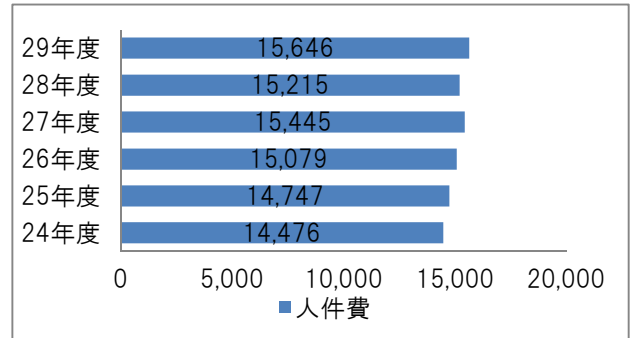
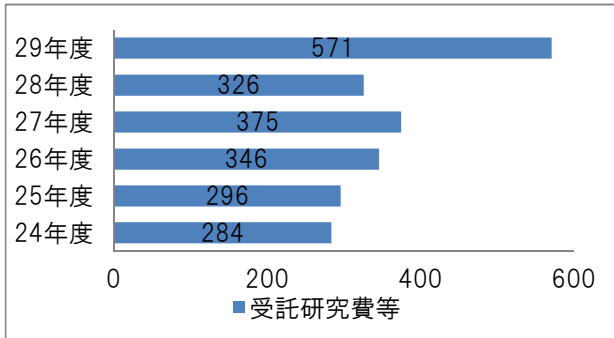
・附属総合情報センター等の大学全体の教育・研究の双方を支援するために設置された組織の運営に要する経費です。なお、書籍など図書の取得については、資産の部の図書に含まれています。



<b>受託研究費等</b>	<b>人件費</b>
571 百万円 対前年度 245百万円	15,646 百万円 対前年度 431百万円

・受託研究、共同研究及び受託事業の実施に要する経費です。研究者個人に交付される科学研究費補助金はここには含まれません。

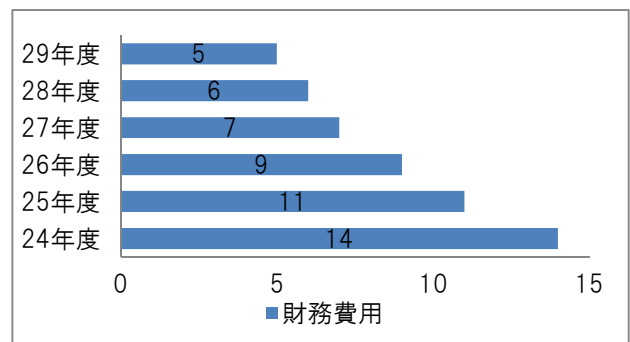
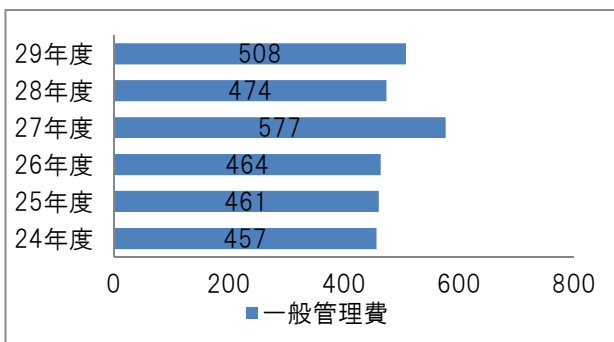
・役員への報酬・賞与・退職金及び教職員への給与・賞与・退職金が含まれます。  
 ・平成29年度は、給与改定及び人数増等や、退職手当が増加したことにより、前年度に比べ増加しています。



<b>一般管理費</b>	<b>財務費用</b>
508 百万円 対前年度 34百万円	5 百万円 対前年度 ▲1百万円

・大学全体の管理運営を行うための経費及び他の区分に属さない業務経費が含まれます。  
 ・平成29年度は、新棟移転に伴う廃棄物処理費等の増加や光熱費の増加により、前年度より増加しています。

・道からの借入金に係る利息の支払いです。

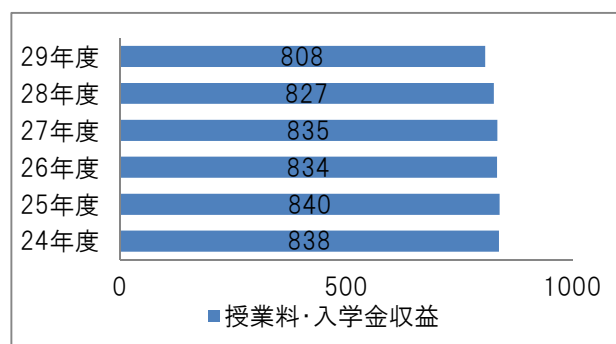
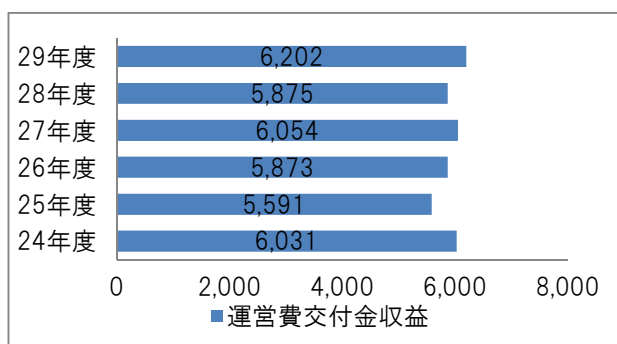


## 経常収益

運営費交付金収益	授業料・入学金収益
6,202 百万円 対前年度 327百万円	808 百万円 対前年度 ▲19百万円

- ・大学運営を行うために道から措置される交付金による収益です。効率化係数などの影響により、毎年減少傾向にあります。
- ・平成29年度は、給与改定等に伴い交付額が増加したことに加え、退職手当の執行額が増加したため、収益が増加しています。

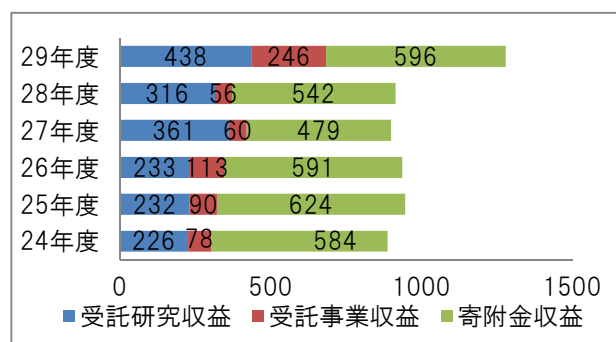
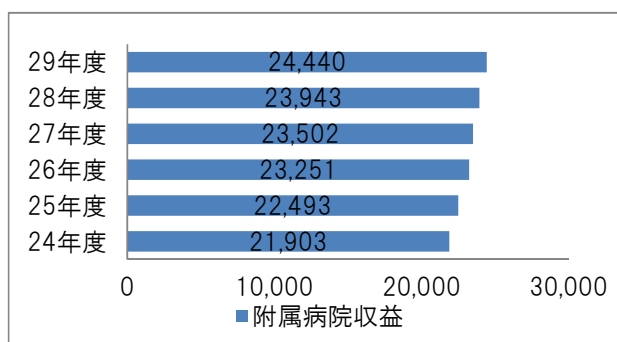
- ・授業料や入学金、検定料などの学生納付金による収益です。
- ・平成29年度は、大学院生の減少により、収益が減少しています。



附属病院収益	受託研究・寄附金収益
24,440 百万円 対前年度 497百万円	1,280 百万円 対前年度 366百万円

- ・病院における診療による収益です。
- ・平成29年度は、前年と比較して患者単価が上昇したことに伴い、診療収益が増加しています。

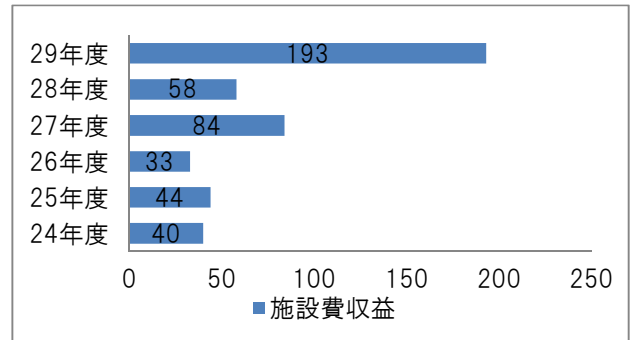
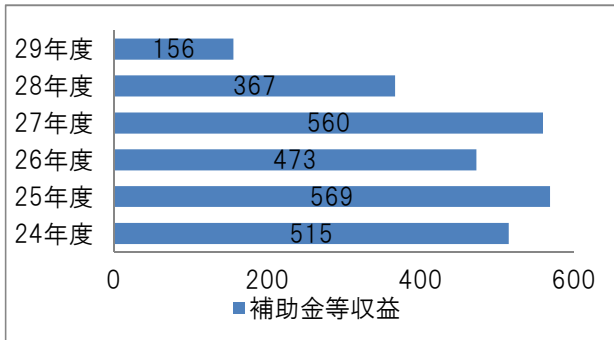
- ・受託研究、受託事業、寄附金などの外部資金の受入に伴う業務実施収益です。
- ・平成29年度は受託研究、受託事業、寄附金収益のいずれも前年度より増加しています。



補助金等収益	施設費収益
156 百万円 対前年度 ▲ 211百万円	193 百万円 対前年度 135百万円

- ・国等から交付された大学改革推進等補助金（GP）等の受入に伴う業務実施収益です。
- ・平成29年度は、橋渡し研究に係る補助金の減により、収益化額が減少しています。

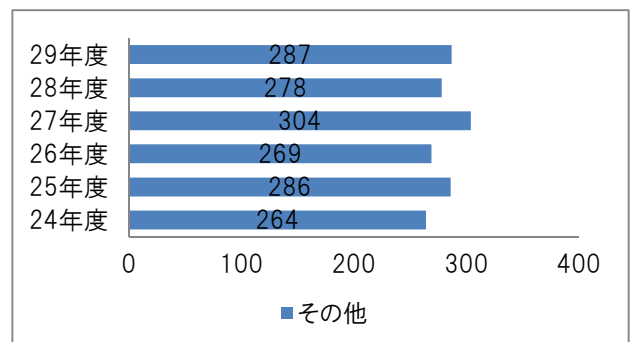
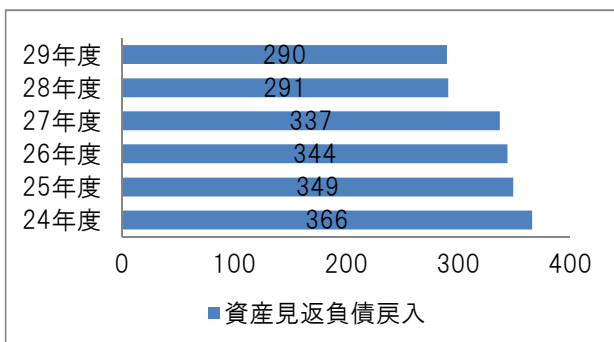
- ・施設費により措置されたもののうち、資本を構成しない修繕費、附帯事務費等の費用化された額に対応する収益です。



資産見返負債戻入	その他
290 百万円 対前年度 ▲ 1百万円	287 百万円 対前年度 9百万円

- ・固定資産を取得した際に計上した資産見返負債を減価償却に対応して取り崩す、地方独立行政法人会計の特徴的な科目です。
- ・平成19年度の法人化の際に、北海道より譲与された備品等の減価償却額が減少しています。

- ・財産貸付料収入などの雑益が含まれます。



財務報告書 2018

平成30年9月発行

発行・編集 北海道公立大学法人札幌医科大学事務局  
経営企画課財務室